

令和6年度 一宮市立奥中学校 教育目標

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

知・徳・体の調和のとれた「地道徹底・自立貢献」ができる未来を拓く生徒の育成

◎校訓くめざす生徒像> 『笑顔いっぱい・元気いっぱい』

『「学びあい・認めあい・輝きあい」(三あい)ができる生徒』

- ・学びあい：課題の発見・解決に向けて主体的、対話的、協働的に学ぶ生徒
- ・認めあい：お互いの良さを認めあい、仲間を大切にし、感謝する心を持つ生徒
- ・輝きあい：一人一人が高い自尊心を持ち、失敗を恐れずチャレンジし、笑顔と元気に満ちあふれる生徒

◎くめざす学校像>

- ・生徒 ~ 学びたい学校
- ・保護者 ~ 学ばせたい学校
- ・教職員 ~ 勤めたい学校

◎くめざす教職員像>

- ・学び続ける教職員
- ・協働し合う教職員

(2) 経営方針『生徒や教師一人ひとりの Wellbeing (ウェルビーイング = 幸せ) を大切にする学校づくり』

ア 確かな学力の育成

- ・現職教育の充実を図り、「わかる・楽しい授業」と実感できる指導方法の工夫に努め、学力の向上を図る。
- ・基礎的な知識・技能の定着と、学習ルールやマナーの向上を図る。
- ・自分の考えを伝え合う・話し合う等の言語活動を通して、思考力・判断力・表現力、及び読解力の向上を図る
- ・自己の考えを広げ深める「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善を図る。
- ・GIGA スクール構想を充実させ、ITC の活用を推進するとともに、個別最適化された学習を通して、学習意欲・学習方法の向上を図る。
- ・キャリア教育の充実を図り、自分らしい生き方を選択・実現する力を育み、夢・目標の実現に向けた生きる力を身につけさせる。

イ 豊かな心の育成

- ・様々な多様性を認め合い、自他ともに大切にする態度を育成し、よりよい人間関係の構築と居心地よい集団づくりに努め、共感的な人間関係を育成する。
- ・発想力やコミュニケーション力を高め、自他の思いや考えを共有し、存在感や自己肯定感を育てる。
- ・Q-U 検査や生活アンケート、相談活動を通して生徒理解に努め、生徒の思いに耳を傾けながら、一人一人の気持ちに寄り添った指導に努める。
- ・「時を守り、場を清め、礼を正し」を具現化し、笑顔あふれる元気な心を育む。
- ・「考えて・議論する」の道徳教育の充実を図り、多面的に考え、判断し、自己の生き方やその基盤となる道徳的価値の自覚を深めさせ、適切に行動するための資質・能力を養う。
- ・読書活動や新聞活用を通して多角的・多面的に物事を考える力を高める。
- ・国際理解教育に関する様々な活動を推進するとともに、国際化・情報化社会への対応力を向上させる。
- ・SDGs (持続可能な開発目標) を踏まえ、環境保全に取り組むE SD (持続可能な開発のための教育) を推進し、豊かな環境とその恵みを大切にする心を育てる。

ウ 健やかなからだの育成

- ・命と健康を守ることを基本として、日常生活や学校行事等における健康観察の充実を図る。
- ・事故・けが・病気の予防に努めるとともに、安全意識を高め、健康で安全な生活の充実を図る。
- ・系統性を重視した意図的・計画的な健康教育や情報モラル教育、体育活動を進め、望ましい生活習慣の定着と身体能力の育成を図る。

エ 信頼される学校づくり

- ・率先垂範として教師自身も「地道徹底・自立貢献」に努める。
- ・「わかる・楽しい授業」を目指し、教師の授業力・指導力を高める。
- ・「聴く姿勢」を重んじ、カウンセリングマインドを高め、豊かな人間関係づくりを努める。
- ・学校公開、各種たよりの発行及び学校ホームページをさらに充実させ、発信力を高める。
- ・施設設備の安全管理や非常時の危機管理体制の整備に努め、安心・安全な学校づくりを推進する。
- ・小学校との連携を通して、情報の引き継ぎ・共有、学びのつなぎ、連続した支援等を進める。
- ・地域行事・ボランティア活動への参画を通して貢献の心を養う。

(3) 本年度の重点目標

- ア 「笑顔いっぱい・元気いっぱい」「あたりまえのことをあたりまえにやりきる」「感謝」をキーワードとして、基本的な生活習慣と豊かな人間関係づくりの基礎を図る。
- イ 「わかる、楽しい授業」をめざした授業改善に努め、全職員が積極的に研修や修養に努める。
- ウ 相互授業参観を積極的に行い、授業づくりや評価の在り方についての研究を進める。
- エ 「読み取る力」(リーディングスキル)を高める取り組みを実践し、正しく読む力を高める。
- オ 生徒に発表の機会を多く与え、互いの考えの良さを見つけ認めさせ、「聴く」「誉める」「認める」「自己決定」させながら、自己肯定感・自己存在感を高める。
- カ 課題題解決の過程を重視した授業展開を心がけ、自分の考えを持たせるとともに他者の考え・意見との異同を受け止めさせ、自己決定の場を与える。
- キ 教え合い学習や協同・協働活動を設定し、他者の発表を傾聴させ、共感的な関係を育成する。
- ク 「報告・連絡・相談・確認」を徹底し、教職員間の情報共有を図り、早期発見・早期対応に努める。
- ケ 「聴く姿勢」と「寄り添う指導」を充実させ、規範意識を高め、規律が守れる秩序ある学校づくりに努める。
- コ 「言葉の力」を高め、教師の接遇、気配り、目配りが行き届く潤いある学校づくりに努める。
- サ 教職員の業務効率化を推進し、物理的、精神的にゆとりをもって生徒と向き合い、持続可能な教育実践が進められるようにする。